

平成28年度
おきぎんふるさと振興基金

「第6回屋部川七色にじまつり」事業報告書

屋部川七色
にじまつり

日時:平成28年
11月19日(土)・20日(日)
場所:屋部川にじ公園
および屋部川

20日(日)
11:00 ~ 18:00
オープニング/まつり出店
ステージイベント/カヌー/手作りポート
ニユースポーツ体験/水辺の生物観察
「屋部集落史跡・自然めぐり&オープンガーデン」
※プログラム内容等において時間変更あり。

19日(土)
17:00 ~ 21:00
まつり出店/ステージイベント
ナイトカヌー体験(当日予約先着順)
打ち上げ花火

■今回のまつりは、平成28年度おきぎんふるさと振興基金、事業を活用しています。

主催:第6回屋部川七色にじまつり実行委員会・屋部支所管内会 共催:松本市青少年育成協議会屋部支部
後援:松本市・旧辰野町親友会・(公財)松本市観光協会・辰野新聞社北沢支社/毎日新聞タイムス社北沢支社・株式会社エフエムやんばる
お問い合わせ:第6回屋部川七色にじまつり実行委員会事務局(屋部支所内) TEL 52-2610 FAX 53-6081

第6回屋部川七色にじまつりポスター

報告者:屋部支所管内地域振興会

【第6回屋部川七色にじまつり報告】

■開催日時：平成28年11月19日（土）午後5時～午後8時30分
11月20日（日）午前11時～午後5時30分

■場 所：屋部親水公園及び屋部川

■参加人数：のべ1,500名（2日間、ボランティア出演者含む）

■全体総括

- ・今回はじめての雷雨、雨天時での祭りであったが、ステージイベントを支所2階ホールへ変更するなど、臨機応変に対応することができ、無事祭りを終了することができた。
- ・ステージプログラムがより充実し、花火も大変好評であった。
- ・協賛広告の活動時期が遅れたにも関わらず区長、市議のみなさんのおかげで例年同様協賛金を確保できた。また、おきぎんふるさと振興基金の活用により、62万円の繰越金を初めて確保することができた。（総額120万円あれば安心したまつり運営が図られる。）
- ・次回開催に向けて、自主財源の確保はもとより、雨天時対応策の検討、各区からのスタッフ協力を含めた組織体制、魅力ある新たなプログラムづくりなど、地域コミュニティの連携強化と地域貢献できる地域資源を活かしたまつりとして魅力をさらに高めていきたい。

○各班報告

<カヌー班>

- ・雷雨で、親子で体験できる干潟観察、手作りボートが実施できず残念であった。
- ・今回料金を値上げしたが特に苦情もなく、天候が悪くなければそれなりの収入は見込めた。今回の値上げでも他と比較すると格段に安い料金体系なので、将来はもっと値上げしてもよい、そうすることで今後の収入増が見込め採算がとれる事業になりつつある。

<ステージ班>

- ・前回よりも演目も増え、カラオケ大会から各区一芸へ変更するなど、プログラム内容は充実していたのではないかと思います。雨天時のため、ステージ場所を移すなど、臨機応変に対応できたことは今後につながると思います。

<会場班>

- ・テナント準備について出店者自身でできることは出店者にお願ひし、出店以外の協力（例：誘導係）依頼をしても良いのではないかと。
- ・会場レイアウト作成について、次回はまつり実行委員会スタート時に、図案をだせるよう役員会で準備したい。

<広報班（事務局）>

- ・今回は、集落散策のチラシを作成することで18名の参加者があり、大変好評であった。
- ・次回は屋部区在住のプロのイラストレーターへ依頼し、市内外へ広報に力を入れていく。

【活動写真】



オープニングセレモニー (名護桜太鼓)



屋部川「七色放水」とカヌー体験



ステージ (屋部区大島・久護老人会)



地域参加型の出店風景 (19店舗)



ニュースポーツ体験「ヒットだ！ターゲット」



集落散策&オープンガーデン「久護家」

屋部川七色 にじまつり

日時：平成28年
11月19日(土)・20日(日)

場所：屋部川にじ公園
および屋部川



■今回のまつりは、「平成28年度
おきぎんふるさと
振興基金」事業を
活用しています。

19日(土)
17:00～21:00
まつり出店/ステージイベント
ナイトカヌー体験(当日予約先着順)
打ち上げ花火

20日(日)

11:00～18:00

オープニング/まつり出店
ステージイベント/カヌー/手作りポート
ニュースポーツ体験/水辺の生物観察
「屋部集落史跡・自然めぐり&オープンガーデン」
※プログラム内容等において時間変更あり。

主催：第6回屋部川七色にじまつり実行委員会・屋部支部区長会 共催：名護市青少年育成協議会屋部支部
後援：名護市・旧屋部村郷友会・(公財)名護市観光協会・琉球新報社北部支社(株)沖縄タイムス社北部支社・株式会社エフエムやんばる
お問い合わせ：第6回屋部川七色にじまつり実行委員会事務局(屋部支所内) TEL 52-2610 FAX 53-6081



市街地を流れる屋部川はマングローブの生える豊かな干潟があり、たくさんの生きものがすんでいます。さあ、身近な生きものを一緒に探しましょわ！

参加
無料！

屋部川 生きもの探し隊！

- 日時 2016年11月20日(日) 16:00~17:00
- 場所 屋部支所裏(受付 屋部川にじまつり会場本部) ※ 事前受付可
- 人数 20名まで(先着) ● 案内 村田尚史(名護博物館学芸員)

※ 足元が水につかります。ぬれてもよいくつ・服で参加してください(裸足は危険です)。
※ 網やプラケース、軍手をお持ちの方は持ってきてください。



問い合わせ
申込先

第6回屋部川七色にじまつり実行委員会事務局(屋部支所内)
TEL 0980-52-2610 FAX 0980-53-6081

第6回屋部川七色にじまつりイベント

屋部集落史跡・自然めぐり&オープンガーデン

「屋部集落の史跡・自然を再認識し、庭園をたのしみましょう！！」

◆主なコース（予定）

- ① 久護家（県指定文化財） ② 屋部寺 ③ フクギ並木
- ④ 渡波屋（とわやー） ⑤ オープンガーデン（6か所予定）

記

集合場所：屋部川七色にじまつり会場本部(屋部支所裏)

集合時間：9時20分(駐車場は屋部小グラウンドをご使用下さい)

参加費：無料、定員は20名までです。(事前申し込み可)

※ 歩きやすい服装でご参加下さい。

講師：岸本 司（きしもと つかさ）※地域住民による散策ガイドです。

連絡先：第6回屋部川七色にじまつり実行委員会事務局（屋部支所内）

TEL：0980-52-2610

FAX：0980-53-6081

身近な水辺 七変化

名護・屋部川七色にじまつり



◎観客が見守る対岸に向けて一斉に七色放水する市消防本部や各地区消防団員ら。名護市・屋部の神秘的なナイトカヌーを満喫した親子連れ

＝同市屋部川



消防車放水・ナイトカヌー

【名護】屋部地域7区が連携した「第6回屋部川七色にじまつり」(主催・同実行委員会・屋部支部区長会)が19、20の両日、屋部親水公園や屋部川で行われ、舞台イベントやナイトカヌーなどに変わった。対岸の消防車が七色の水を二斉放水すると、「わく、きれい!」と会場から歓声と大きな拍手が湧き起こった。

舞台イベントや出店も

空手演武やフラダンスなどが披露された初日は屋部川で「ナイトカヌー体験」が行われ、友人連れや親子らが暗い河口から上流へ向けカヌーを進めながら約40分の川の旅を楽しんだ。玉城葉留(かほ)君(屋部小4年)は、父親の直路(なほ)さん(44)と一緒に

緒にパドルを動かした。葉留君は「夜はかなり神秘的だった」と興奮気味。小賦(こぶ)太(同小3年)は「イルカ橋の下にツバメの巣があった。登下校にツバメが電線に止まっていたので、巣が確認できてうれしい」と感激した様子。

多くの出店の中で「おもちゃすくい」を楽しんだのは比嘉(ひが)蓮華(れん)さん(同小4年)。ポイをほろほろにしながら3個のおもちゃをゲットし「まつり最高。おもちゃすくい最高」と笑顔だった。

2日目のオープニングセレモニーで岸本洋平(ひろ)実行委員長は「七色にじまつりは、多くのボランティアに支えられています」とあいさつ。

稲嶺(いねの)進(しん)市長や屋比久(いせ)総(そう)議長らの来賓(らいひん)あいさつの後、名護市消防本部と各地区消防団が「赤」「オレンジ」「青」「黄」「緑」「藍」「紫」の七色の水を屋部川に向けて約2分間、放水した。

ひ孫(ひまご)の川崎(かわさき)結(むす)愛(あい)ちゃん(5)の舞台(ぶたい)を見に来た屋部(やべ)区(く)の比嘉(ひが)孝(たか)子(こ)さん(78)は「ひ孫の踊

りも上手だったが虹も上等だった。初めて虹の放水を見た目を細めた。

舞台では屋部地域の保育園、幼稚園の園児らの演技や一芸名人大会、屋部若獅子会(わかしの)エイサーの演舞などを大勢の観客(くわんかく)らが楽しんだ。

(玉城孝通(たけ)信(のぶ)員(いん))



第6回屋部川七色にじまつり

11月19日、20日、屋部支所管内の7区の交流を目的とする「第6回屋部川七色にじまつり」(主催:同実行委員会、屋部支部区長会)が屋部川にじ公園で開催された。屋部川でのカヌー体験や打ち上げ花火、地域の方たちが出演したステージイベント、ユーススポーツ体験などが行われ、訪れた人びとを楽しませた。



◀ナイトカヌー参加者

地域の保育園児による舞台パフォーマンス

19日、雨の中友達とナイトカヌーを楽しんだ比嘉優介さん(屋部小5年)は、雨に濡れながらも「魚が飛んでいたのが楽しかった」と笑顔で話した。

20日、冷やしそうめんを販売した新城琥珀雨さん(屋部小5年)は、「ハンドボールチームで販売している。そうめんが売れたときはハッピーです」と語った。

30回記念公演 市民劇

11月27日、第30回チャリティー記念公演名護市民劇が市民会館で開催された。名護市手をつなぐ育成会は、「ベンチを直してほしい」とハガキで市に依頼した小学生と区長の心温まるエピソードをミュージカルで表現した。

また、時代人情劇「海人」では、ブコ顔負けの迫真の演技が市民によって演じられた。鑑賞した比嘉初枝さんは「娘の四つ竹を親に來た。時代劇は感動して涙が出た。とても良かった」と感想を語った。



涙を誘う場面やコミカルな場面で観客を魅了した時代人情劇

RUN伴2016 名護から

11月26日、「RUN伴2016」の出発式がJAファーマーズマーケットで開催された。同イベントは認知症の人、家族やサポーターなど約1万1千人が6500kmをタスキでつなぎ日本を縦断するもので、7月2日に北海道北見市をスタートし、この日、沖縄本島を南下した。

沖縄実行委員長の中野小織さんは「2011年から続いている。沖縄に來たのは初めてで日本縦断の記念となった。1万人の思いをしっかりと沖縄でも繋いでいきたい」と語った。



スタートを切った参加者や伴走者